

政務活動費調査研究報告書

会派名 新生・市民クラブ

氏名 大塚正俊

日 程	平成27年7月6日(月)																								
場 所	I. 岩手県一関市																								
相 手 方	I. 一関市まちづくり推進部まちづくり推進課、いきがづくり課																								
参加議員 氏 名	今井義人、須賀留美子、奥山裕子、吉村尚久、大塚正俊 千木良孝之、松井康之、木ノ下素信																								
目 的	I. 岩手県一関市の移住定住促進制度、暮らし体験ツアー、いちのせき元気な地域づくり事業の取り組み																								
内 容	<p>I. 岩手県一関市</p> <p>【市の概況】</p> <p>一関市は東北地方の中央に位置し、首都圏からは約450km、仙台と盛岡の中間地点にあり、人口約127,000人、総面積1,256.42平方キロメートル(人口、総面積ともに県内第2位)、岩手県南・宮城県北の『中東北の拠点都市』として、経済・文化・教育の中心となっています。</p> <p>人口は、県内他市町村の平均よりも特段速く減少しています。高齢化率や未婚率が高く、出生率が低いことが要因として挙げられています。</p> <p>平成12年に14万人だった人口も32年には12万人を下回り、47年には10万人を割り込むことが予測されています。</p> <p>市では、人口減少の抑制や移住者の獲得に向けた「移住・定住促進事業」や地域の活性化に向けた「婚活支援事業」を実施し、地域を活性化させ、一関を元気にする取り組みを進めています。</p> <p>i. 移住定住促進制度</p> <p>a. 移住奨励助成事業</p> <p>平成25年4月1日以降、市での定住を目的に転入する(10年以上継続して市に住所を有することを誓約する)人で、市内に住宅を新築または購入した場合、奨励金などを交付します。実施期間は平成25年度から27年度までとなっています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">1)住宅助成金</th> </tr> <tr> <th></th> <th>移住者区分</th> <th>新築</th> <th>中古購入</th> <th>改修工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基本額(※1)</td> <td>40歳以上</td> <td>100万円</td> <td>50万円</td> <td>上限30万円</td> </tr> <tr> <td>40歳未満</td> <td>200万円</td> <td>100万円</td> <td>上限50万円</td> </tr> <tr> <td>加算額(※2)</td> <td></td> <td>20万円</td> <td>—</td> <td>20万円</td> </tr> </tbody> </table>	1)住宅助成金						移住者区分	新築	中古購入	改修工事	基本額(※1)	40歳以上	100万円	50万円	上限30万円	40歳未満	200万円	100万円	上限50万円	加算額(※2)		20万円	—	20万円
1)住宅助成金																									
	移住者区分	新築	中古購入	改修工事																					
基本額(※1)	40歳以上	100万円	50万円	上限30万円																					
	40歳未満	200万円	100万円	上限50万円																					
加算額(※2)		20万円	—	20万円																					

(2)住宅奨励金

基本額	20万円/件
加算額(※3)	5万円/人

※1 夫婦のいずれかが40歳未満の場合は下段の額を助成。

※2 市内業者が施工した場合に加算

※3 中学生以下の子を扶養する世帯で子一人につき加算

実績は、平成25年度13件1,980万円、26年度27件4800万円、27年度予算6,990万円

25・26年度は単費（起債なし）、27年度は地方創生先行型交付金を活用している。

移住者の7、8割は市内に親戚がある、職場がある人で、全く無縁の人は少ない。

b. いちのせきファンクラブ事業

一関市を知りたい、行ってみたい、応援したいと思っている人や一関にゆかりのある人など全国のいちのせきファンへ各種情報や特典を届けています。

・年会費 10,000円/年

・対象 市外在住者

・特典

【共通】・いちのせきファンクラブ会員証の発行・市広報誌や観光パンフレットなど本市情報の発信・主要観光施設（公共施設）の無料利用

【選択】Aコース…市内宿泊券（15,000円分）、お餅食事券（2,000円分）／Bコース…市内宿泊券（10,000円分）、特産品詰合（5,000円分）、お餅食事券（2,000円分）。

ii. 暮らし体験ツアー

一関市では、いちのせきニューリズム協議会や旅行業者との協力により、「いちのせき暮らし」体験ツアーを企画し、実施しています。

市の情報のお知らせや不動産見学、先輩移住者との交流、農家民泊、地産の食材を使った料理の提供など、内容は盛り沢山です。

年2回実施し、関東圏をターゲットに実施している。一ノ関駅までの交通費は参加者負担。参加費用は5,000円/回で1泊4食と市内の交通費、体験料等。

平成25年度10名前後/回、26年度5名程度/回、シニア世代が多い。一ノ関駅までの交通費（自己負担）が24,000円程度かかる。財源は、単費（起債なし）

	<p>iii. いちのせき元気な地域づくり事業の取り組み</p> <p>市では22年度から、「いちのせき元気な地域づくり事業」を行っています。</p> <p>「いちのせき元気な地域づくり事業」は、各支所（一関地域は各担当部）が事業主体となり、地域住民と協議しながら地域の特色あふれる事業を行っています。</p> <p>平成27年度は、各支所や担当部でアイデアの検討を行い、101事業の実施が決まりました。全体の予算は6,674万円。</p> <p>地域ごとの内訳は、地域あたりの均等割を600万円、人口に応じた地域割を114万円から680万円とし、▽一関1,280万円▽花泉・大東・千厩各828万円▽東山・室根・川崎各714万円—となっています。</p> <p>実施事業の制限は特に設けず、地域ごとに自らの発想とアイデアで事業を決定・展開しています。</p> <p>広い市域の中で、それぞれ特色ある地域づくりを展開し、それぞれの地域が元気になり、ひいては市全体の活性化に繋がると期待されています。</p> <p>財源は単費（起債なし）で、支所長・担当部長の裁量で決定できます。</p> <p>補助対象経費は、人件費、食糧費を除く全てとなっています。（市の事業で実施）</p>
成 果	<p>I. 岩手県一関市</p> <p>移住定住促進対策として、市全域における人口増を目指すため、全市域を対象に高額な住宅助成金・奨励金を支給しています。しかし、地域を限定していないため、旧町村の過疎化対策につながっていません。過疎化の進行している旧町村部を絞り込み事業効果を高める必要があります。中津市も単費で住宅改造助成を行っています。地方創生先行型交付金を活用していくことは有益です。</p> <p>また、いちのせきファンクラブは、会費すべてが市に落ちるため、ふるさと納税の返戻品とは違った事業展開が可能です。是非、中津市においても取り組んで行きたいと思います。</p> <p>いちのせき元気な地域づくり事業は、中津市の地域振興補助金と同趣旨の事業ですが、市域全体に事業が取り組まれています。旧中津の小学校区単位においても補助金が活用できるように制度の拡大を行うべきと考えます。また、現行の補助金制度では地元や活動団体の負担が生じるため、全額支給（人件費、食糧費を除く）に見直した方が、自由滑沢な事業展開が可能となります。但し、事業採択の基準、事業評価は定期的実施すべきと考えます。</p>